

# 第8回研究集会（沖縄）

めんそーれ通信vol7

～インクルーシブ教育のシステム構築のために、  
今、通常の学級でできること～

## 登壇者紹介⑦ 大城政之先生

はいさい!!!皆様いかがお過ごしでしょうか。日本LD学会第8回研究集会第7号通信をお届けいたします。今回は司会（企画委員長）大城政之先生のご紹介です。

今回のシンポジウムでは、菊池先生の基調講演を受けて、これまでの実践研究の中から多面的なアプローチを紐解きながら、2つの観点から掘り下げてみることを試みます。第1部として、「個別最適な学びの保障を実践例から考える」というテーマを設定しました。ここでは琉球大学の下條先生にアメリカのCASTが提唱している主体的に学ぶことができる学習者を育てるための理論的枠組みをもとに「小学校におけるUDLの実践」について話題提供していただきます。そして、沖縄県南城市教育委員会の真喜屋先生と南城市立大里南小学校の圓先生には、多層指導モデルMIMを活用した「MIMの実践を中心とした小学校におけるユニバーサルデザインの取り組み」について具体例を紹介していただきます。そして、第2部として、「通常の学級における子どもの学びを支える授業の在り方を考える」というテーマを設定しました。ここでは、授業UDの視点から小田原市立酒匂小学校の片岡先生には、これまでの実践例を振り返りながら「授業UDの実践を通してみえてきた教師の出番や役割」についてお話していただきます。続いて、那覇市立壺屋小学校の小島先生には「学びを教材化する教師の視点」について実践例をお話していただきます。いかがでしょうか？それぞれの実践に裏付けられた話題提供を、一つ一つヒモ解いていくことで、インクルーシブ教育システムの構築のために、今、通常の学級でできることは何か？目の前の課題をどのように整理し、解決の手がかりを探れば良いのか？このシンポジウムをとおして、参加される皆様自身が学び、これからの指導・支援のエネルギーになることを願っています。

大城 政之（おおしろ まさゆき）

【略歴】

昭和63年 沖縄県立八重山養護学校で教員スタート。

平成15年から教育行政

平成20年から国立特別支援教育総合研究所にて主任研究員、総括研究員

平成24年から再び教育行政

平成27年に県立島尻特別支援学校校長となる

平成30年から教育行政において特別支援教育室長

令和3年から県立大平特別支援学校で校長を務め、令和5年3月に退職。

令和5年4月から現職

浦添市教育委員会 学校教育課 特別支援教育コーディネーター  
特別支援教育士スーパーバイザー



## 沖縄の魅力発見



### 沖縄にしかない犬種！？琉球犬の魅力

琉球犬はこちらの地域にしか生息していない犬種で、沖縄県の天然記念物にも指定されています。縄文犬の遺伝子を濃く受け継いでいるとされています。後ろ足に狼爪（ろうそう）があるのが大きな特徴です。現代の犬たちは前足にあります。虎模様が特徴的、温和で友好的なので飼いやすく人気があります。

純血種になると稀少で手に入りにくいですが、琉球犬の入ったミックスは比較的多く、里親募集をすると本土からの応募が結構あり、海を越えて行くワンちゃんたちもいます。



### 沖縄あるある～宮古編～

#### 「お正月が3回！？」宮古島の旧十六日

宮古島ではお正月が3回あります。1回目は、新暦の1月1日の普通のお正月、2回目、旧暦の1月1日（今年の新暦で1月29日）そして3回目は、旧暦の1月16日（今年の新暦で2月13日）の3日間です。

この3日間の中でも一大行事なのが、旧暦の1月16日、通称「旧十六日祭（きゅうじゅうろくにちさい）」とよばれる後生（ぐしよーまたはグソー）のお正月です。旧十六日祭は、あの世のお正月と言われていて、親戚みんなが集まりお墓参りをする日なので、その日は、学校や地域の会社は、ほぼ午後からお休みになります。また島を出て暮らしている人も新暦の正月に帰省できなかった人もこの旧十六日に帰省する事も多いです。

この日には、先祖の墓参りと先祖供養のためにお重のお料理を作ったり、もちやお菓子、果物などをそれぞれの家庭から持ち寄ったりしてお墓にお供えします。またご先祖様があの世で使えるお金（ウチカビ）を燃やし、一人ずつ手を合わせ日頃の感謝や近況報告をし祈りを捧げたあとに、お供えしたごちそうを囲み、みんなで先祖を供養するという風習があります。

